

パークゴルフに関するアンケート調査報告書



平成29年9月

公益社団法人 日本パークゴルフ協会

調査目的・調査方法

■ 調査目的

スポーツには、医療費を抑制できる可能性を秘めており、スポーツ実施による効果として、健康増進、健康寿命の延伸が近年特に注目されるようになってきた。そのため、わが国においては、「スポーツ基本法（平成 23 年 8 月施行）」に基づき策定された「スポーツ基本計画（平成 24 年 3 月策定）」により、成人の週 1 回以上のスポーツ実施率が 3 人に 2 人（65%程度）となることを政策目標に、各ライフステージに応じたスポーツ参画の促進、地域コミュニティの中核となるスポーツクラブの育成等の取組が進められてきた。

このような政策のもとでは、これまで地域スポーツは、子どもから高齢者に至る誰もが日常的にスポーツを楽しむことができる環境の提供、精神的充足感や楽しさ、喜びをもたらし、心身の健全な発達を促すことなど、人、情報、地域交流による地域コミュニティの活性化に大きな役割を果たしてきた。したがって、今後もこのような地域スポーツが担うべき新たな役割を果たすためには、子どもから高齢者までのライフステージに応じたスポーツ活動への参画をさらに促進することが必要とされおり、その意味において、パークゴルフは最も適したスポーツであるといえよう。

公益社団法人日本パークゴルフ協会は、平成 29 年に協会設立 30 周年を迎える。そこでその節目にあたり、パークゴルフの基本理念である「自然を大切にする・3 世代交流・安全で楽しいスポーツ」を継承し、パークゴルフのさらなる普及発展を推進するため、パークゴルフ愛好者の意識調査を実施した。なお、本調査の目的は、生涯スポーツとしての今後のパークゴルフの方向性について検証するものである。

■ 調査方法

全国 40 連合会加盟協会員並びにコース会員等及び直轄協会員に対し、以下のとおりアンケート調査を実施した。

調査の構成

調査項目	●回答者の属性（居住地、性別、年齢） ●パークゴルフに関する内容（パークゴルフ歴、パークゴルフを始めたきっかけ、プレー頻度、ラウンド時間、プレーの相手、楽しさ、健康状態、健康増進の効果、協会入会の動機） ●協会に対する意見及び提言（自由記述）
調査期間	平成 27 年 10 月 20 日～平成 27 年 12 月 11 日
調査範囲	全国 40 連合会加盟協会員、コース会員等、直轄協会員とした。いずれも所属個人会員数の 7%を対象調査数とした。
調査方法	アンケート調査票を配布し、郵送にて調査票を回収した。
配 布 数	4,468 票
回 収 数	3,682 票（有効：3,517 票、無効：165 票）
回 収 率	82.4%

調査集計結果

■ 回答者の属性（居住地、性別、年齢）

(1) 居住地

都道府県	回収数	有効	無効	都道府県	回収数	有効	無効
北海道	1,817	1,727	90	愛知県	36	33	3
青森県	51	47	4	三重県	23	20	3
岩手県	114	111	3	大阪府	10	10	0
宮城県	155	147	8	和歌山県	6	6	0
秋田県	59	59	0	島根県	1	1	0
山形県	112	109	3	岡山県	1	1	0
福島県	232	229	3	広島県	19	19	0
茨城県	21	21	0	徳島県	16	15	1
栃木県	42	39	3	香川県	1	1	0
群馬県	44	41	3	高知県	19	18	1
埼玉県	49	43	6	福岡県	28	24	4
千葉県	117	110	7	佐賀県	15	15	0
東京都	3	3	0	長崎県	5	4	1
神奈川県	90	90	0	熊本県	40	36	4
新潟県	4	4	0	大分県	24	22	2
富山県	267	257	10	宮崎県	62	56	6
石川県	126	126	0	鹿児島県	34	34	0
静岡県	2	2	0	沖縄県	37	37	0
				合 計	3,682	3,517	165

※調査項目（性別、年齢、パークゴルフに関する内容）において、不十分な回答 165 票を無効として処理した。

(2) 性別

性別	回答数	構成比
男性	2,555	72.6%
女性	962	27.4%
計	3,517	100.0%

(3) 年齢

男性	最高	95歳
	最低	21歳
	平均	70.9歳
女性	最高	89歳
	最低	20歳
	平均	68.7歳
平均		70.3歳

年齢	男性		女性		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
39歳以下	18	0.7%	3	0.3%	21	0.6%
40歳～49歳	30	1.2%	8	0.8%	38	1.1%
50歳～59歳	59	2.3%	46	4.8%	105	3.0%
60歳～69歳	782	30.6%	443	46.0%	1,225	34.8%
70歳～79歳	1,504	58.9%	438	45.5%	1,942	55.2%
80歳以上	162	6.3%	24	2.5%	186	5.3%
計	2,555	100.0%	962	100.0%	3,517	100.0%

(1) 居住地

回答者の属性である居住地の結果をみると、47 都道府県中 36 都道府県より回答が寄せられ、全国 76.6% を占める普及状況が示された。

特にパークゴルフの発祥地である北海道の回収数は、1,817 (49.3%) で全体の約半数を占めていることから、北海道における普及状況はきわめて高い。

(2) 性別

性別では、男性の構成比率 (72.6%) からわかるように、男性プレーヤーが女性プレーヤーの構成比率 (27.4%) を大きく上回っている。

(3) 年齢

年齢構成では、最も若い 20 歳プレーヤーから最高齢の 95 歳であった。特に年齢構成比の中で占める割合の特徴的な年齢層としては、70 歳～79 歳 (55.2%) が多数で半数以上を占めている。次いで、60 歳～69 歳 (34.8%) となっており、この 2 つの年齢層の区分を合計すると全体の 90% となる。



NPGA 杯 全日本パークゴルフ大会 2013 (千葉県／しすいの森パークゴルフ場)

■ パークゴルフに関する内容

1. パークゴルフ歴

Q. パークゴルフ歴をお答えください。

- ① 1年未満
- ② 1年以上～3年未満
- ③ 3年以上～5年未満
- ④ 5年以上～10年未満
- ⑤ 10年以上～20年未満
- ⑥ 20年以上

N=3,517

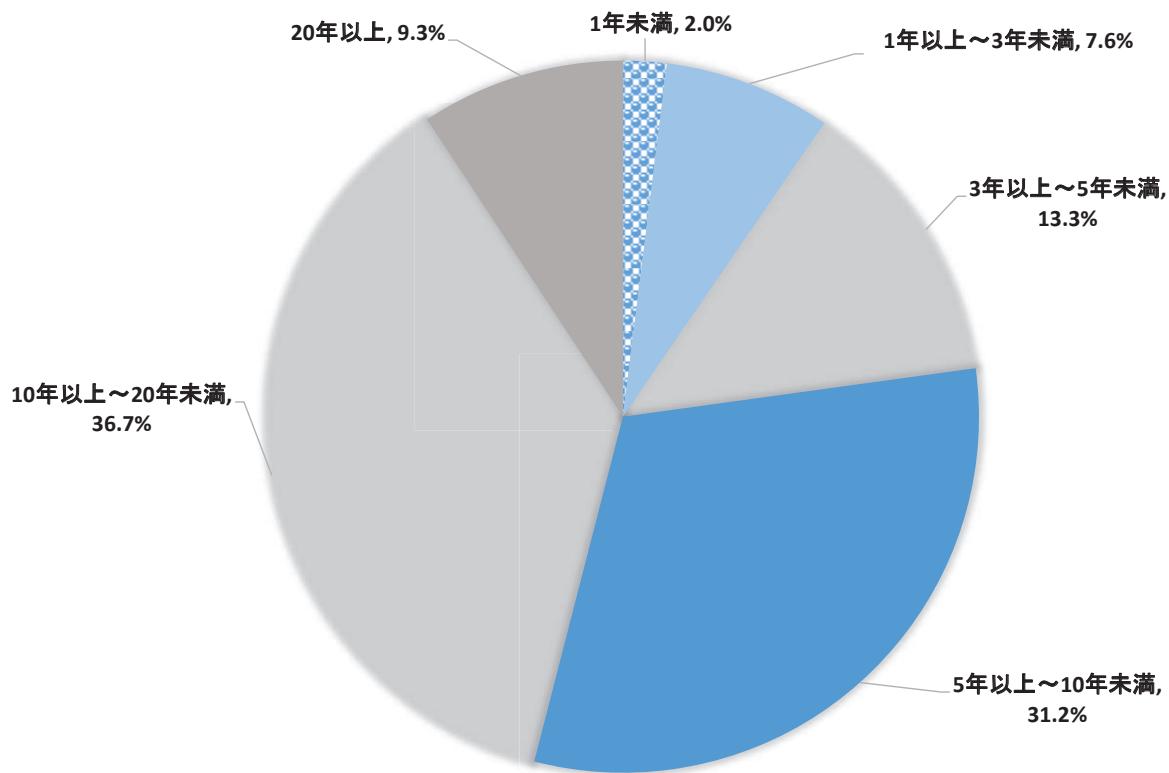


図1 パークゴルフ歴

パークゴルフに関する内容のアンケート結果から、パークゴルフ・プレーヤーの競技歴をみると、「5年以上～10年未満（31.2%）」、「10年以上～20年未満（36.7%）」、「20年以上（9.3%）」となっている。これらを合計すると、全体に占める割合が77.2%となることから、パークゴルフを始めてから長年プレーを楽しんでいるプレーヤーがかなり多いということがわかる。また、最近始めたプレーヤーとしては、「1年未満（2.0%）」、「1年以上～3年未満（7.6%）」であった。

2. パークゴルフを始めたきっかけ

Q. パークゴルフを始めたきっかけの理由をお答えください。（複数回答可）

- ① 健康・体力づくりをしたかったから
- ② 気晴らし（ストレス解消）をしたかったから
- ③ 運動不足を解消したかったから
- ④ 友人や仲間と時間を共有したかったから
- ⑤ 美容や肥満解消に役立つと思ったから
- ⑥ 趣味として何かをしたかったから
- ⑦ 友人からの誘いがあったから
- ⑧ 老化防止に役立つと思ったから
- ⑨ プレーすることが楽しいから
- ⑩ 自分にあったスポーツだと思ったから

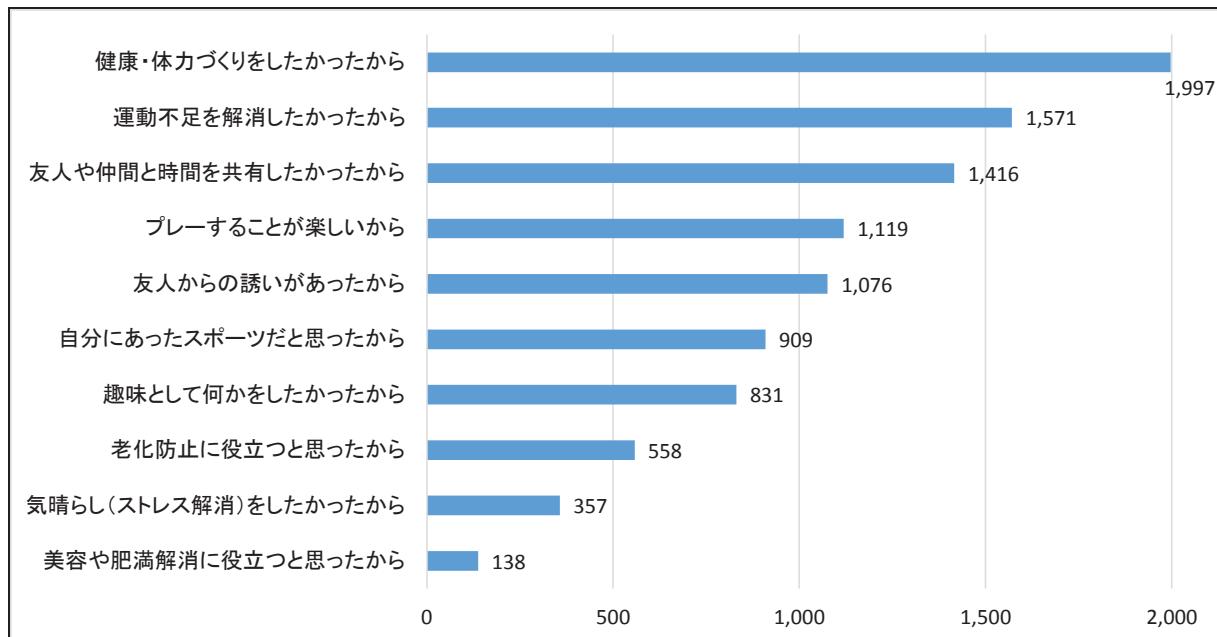


図2 パークゴルフを始めたきっかけ（複数回答）

パークゴルフを始めたきっかけの上位3つをみると、「健康・体力づくりをしたかったから（1,997）」、「運動不足を解消したかったから（1,571）」、「友人や仲間と時間を共有したかったから（1,416）」であった。

これらの回答結果から、多くのパークゴルフ・プレーヤーは、健康・体力づくり・運動不足解消を意識しながら、友人や仲間との時間を共有すること（コミュニケーションとしての場）を求めていることがわかる。また、次いで「プレーすることが楽しいから（1,119）」、「友人からの誘いがあったから（1,076）」、「自分にあったスポーツだと思ったから（909）」などのきっかけで、パークゴルフを始めたプレーヤーも多いことが示された。

3. プレー頻度

Q. パークゴルフはどの位の頻度でプレーしますか。

- ① 週 1 回程度
- ② 週 2 回～3 回程度
- ③ 週 3 回～4 回程度
- ④ 週 4 回～5 回程度
- ⑤ 週 5 回～6 回程度
- ⑥ ほぼ毎日

N=3,517

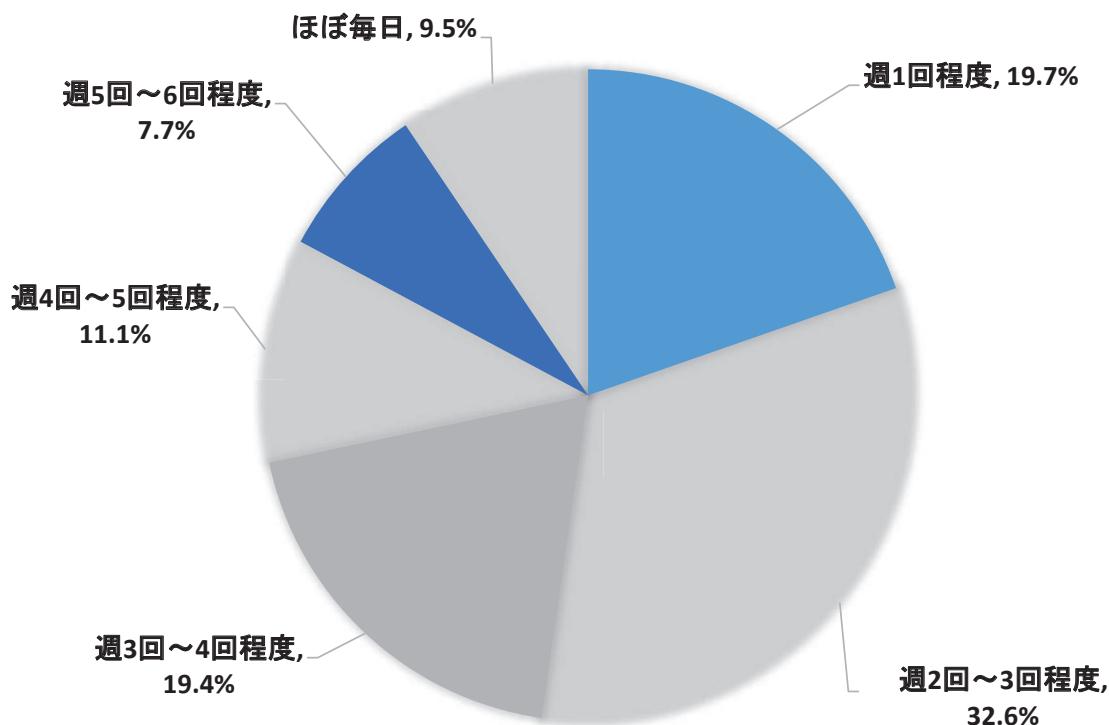


図3 プレー頻度

プレー頻度の結果から、プレーヤーが日常生活の中で「週 2 回～3 回程度 (32.6%)」プレーをしているとの回答が最も多く、次いで「週 1 回程度 (19.7%)」、「週 3 回～4 回程度 (19.4%)」であった。また、プレー頻度が高いプレーヤーでは、「週 4 回～5 回程度 (11.1%)」、「週 5 回～6 回程度 (7.7%)」、「ほぼ毎日 (9.5%)」が示されている。これらを合計すると 28.3%となることから、プレーヤーの 4 人に 1 人は毎日の生活リズムの中に溶け込んで日常化し、パークゴルフが楽しんで行われている様子がうかがえる。

4. ラウンド時間

Q. 1 ラウンドあたりどの位の時間をかけていますか。

- ① 1 時間以内
- ② 1 時間～2 時間以内
- ③ 3 時間～4 時間以内
- ④ 4 時間以上

N=3, 517

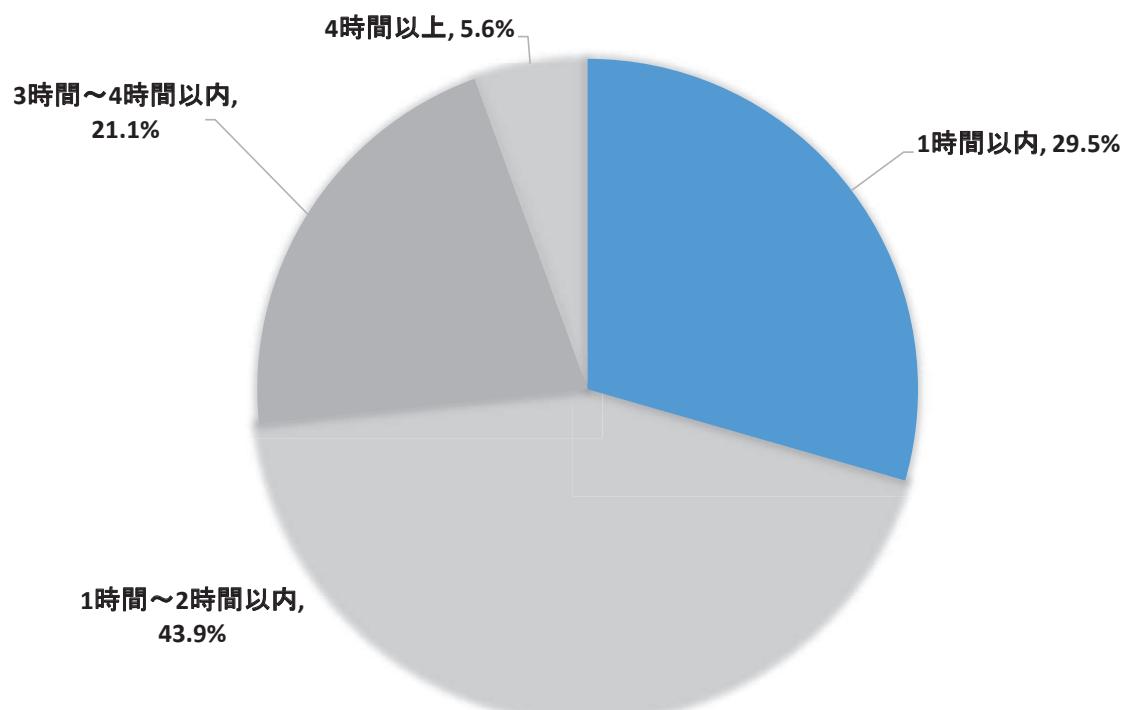


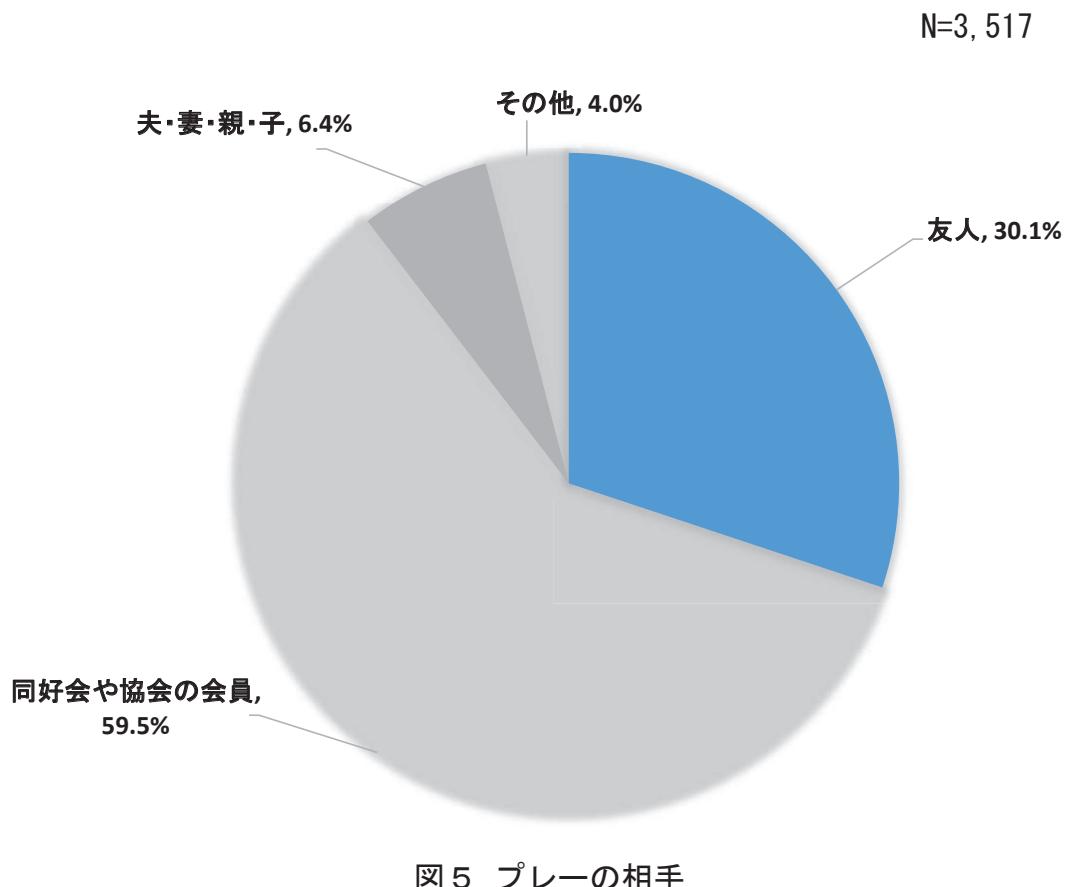
図4 ラウンド時間

ラウンド時間の結果から、「1 時間～2 時間以内 (43.9%)」の回答が最も多く、次いで「1 時間以内 (29.5%)」であった。これを合計すると 73.4%となり、多数のプレーヤーが日常生活時間の中で 1 時間から 2 時間程度でパークゴルフのプレーを行っていることがわかる。また、「3 時間～4 時間以内 (21.1%)」、「4 時間以上 (5.6%)」といったプレーヤーがいることから、日常生活時間の半分をパークゴルフ中心に使っている様子がうかがえる。

5. プレーの相手

Q. 日頃、誰とプレーしていますか。

- ① 友人
- ② 同好会や協会の会員
- ③ 夫・妻・親・子
- ④ その他



アンケート調査項目の「パークゴルフを始めたきっかけ」の結果において、「友人や仲間と時間を共有したかったから（1,416）」といったことからも推測できるように、「同好会や協会の会員（59.5%）」と「友人（30.1%）」をあわせると89.6%であった。また、少數ではあるが「夫・妻・親・子（6.4%）」との回答から、パークゴルフはファミリーでも楽しめる生涯スポーツであることがわかる。

6. パークゴルフの楽しさ

Q. パークゴルフを始めて良かったことやどんな時に楽しいと思いますか。

(複数回答可)

- ① 他人からプレーをほめられた時
- ② 大会などで勝った時
- ③ 表彰されるなど、賞や賞品をもらった時
- ④ 友人ができた時
- ⑤ 友人と一緒にプレーをしている時
- ⑥ 子供や孫と一緒にプレーをしている時
- ⑦ 自分の能力を試している時
- ⑧ 技術が向上した時
- ⑨ オールインワン等、個人で設定した目標が達成された時
- ⑩ パークゴルフそのものの興奮をあじあう時
- ⑪ 他人と競技で競う時

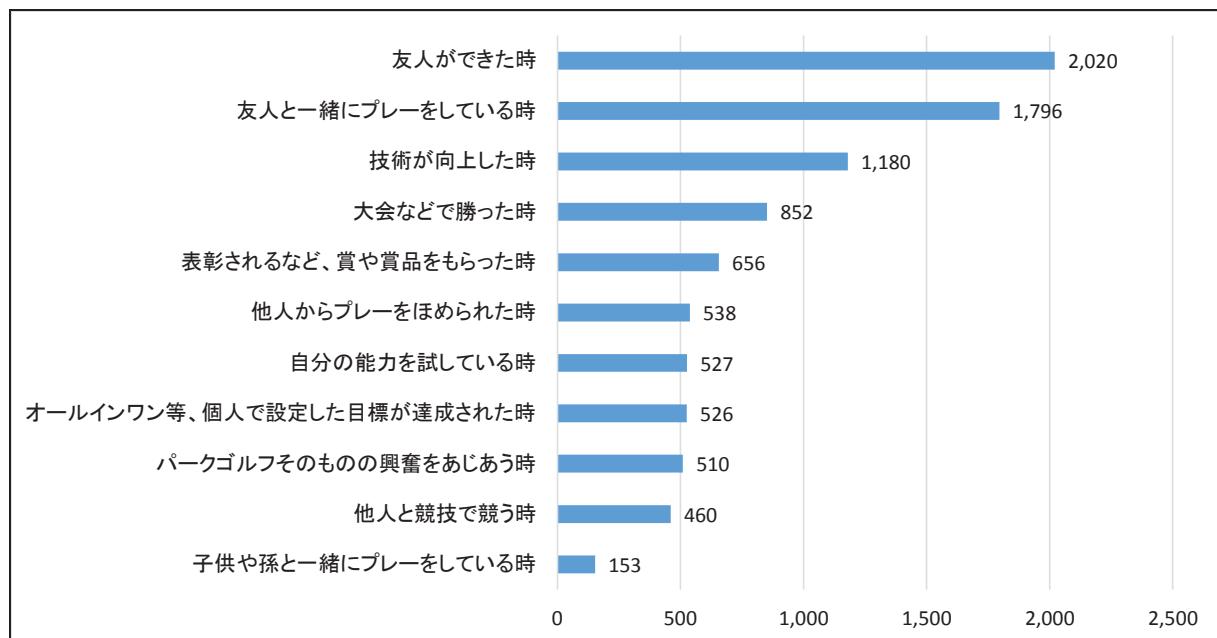


図6 パークゴルフの楽しさ (複数回答)

パークゴルフの楽しさの結果から、最も多かった回答は、「友人ができた時（2,020）」、次いで「友人と一緒にプレーをしている時（1,796）」であり、プレーヤーの求めている楽しさを知ることができる。また、3番目に多かった回答は、「技術が向上した時（1,180）」、次いで「大会などで勝った時（852）」が示された。このことは、スポーツの持つ特性として最も基本的な楽しさであるゲームに勝つことに繋がる回答でもあり、その他のアンケート項目でも、楽しさについての回答が寄せられ、パークゴルフの持つ多様な魅力をうかがい知ることができる。

7. 健康状態

Q. パークゴルフを始めてから健康状態に変化はありましたか。

- ① 常に健康になった
- ② 健康になった
- ③ 変わらない
- ④ やや悪くなった
- ⑤ 非常に悪くなった

N=3,517

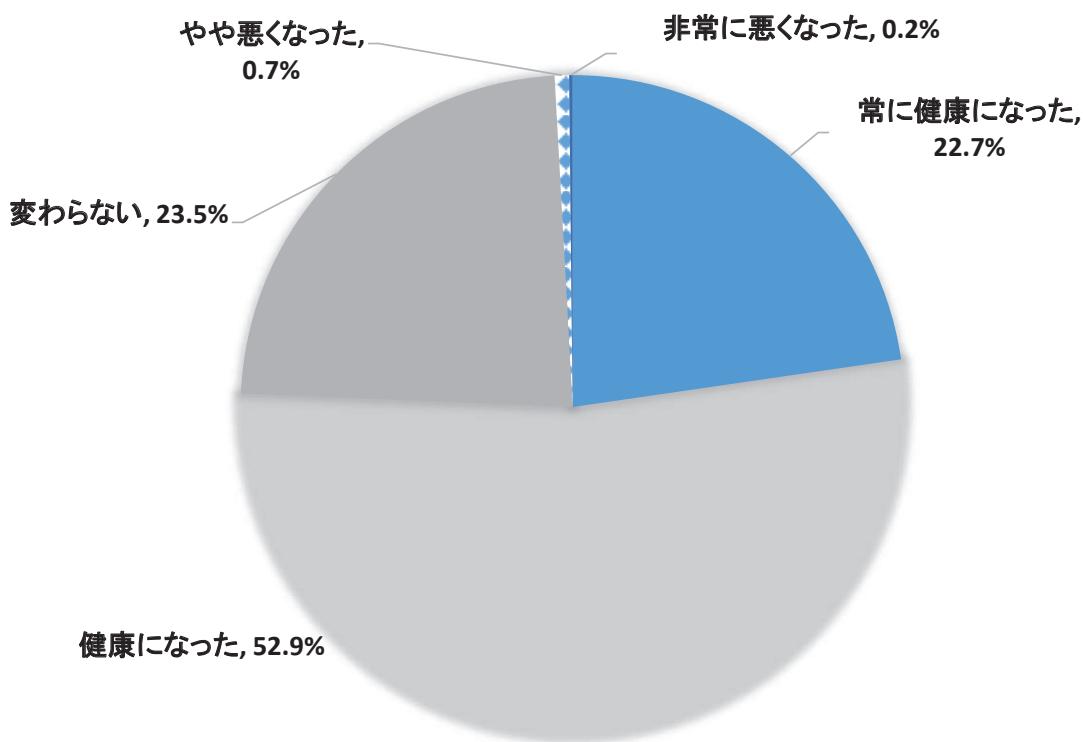


図7 健康状態

健康状態におけるアンケート結果から、パークゴルフをプレーして「健康になった（52.9%）」、「常に健康になった（22.7%）」との回答をあわせると75.6%であった。このことは、生涯スポーツとしてのパークゴルフが、健康・体力づくりに貢献している顕著に示された結果とも読み取れる。少子・超高齢社会にあって、スポーツは医療費抑制への期待が益々高まっている中、スポーツ実施による効果として、健康増進、健康寿命の延命などに期待が寄せられている。その期待を背景にパークゴルフの活動は、アンケート結果が示しているように健康増進に有効な生涯スポーツといえよう。

8. 健康増進の効果

Q. パークゴルフをするようになって健康増進に何か効果がありましたか。

(複数回答可)

- ① 食事がおいしくなった
- ② 病院通いが減った
- ③ 風邪をひかなくなったり
- ④ 良く眠れるようになった
- ⑤ 便秘が解消した
- ⑥ リハビリ効果になった
- ⑦ 足腰が丈夫になった
- ⑧ 肩こりが解消した
- ⑨ おしゃれをするようになって気持ちが若返った

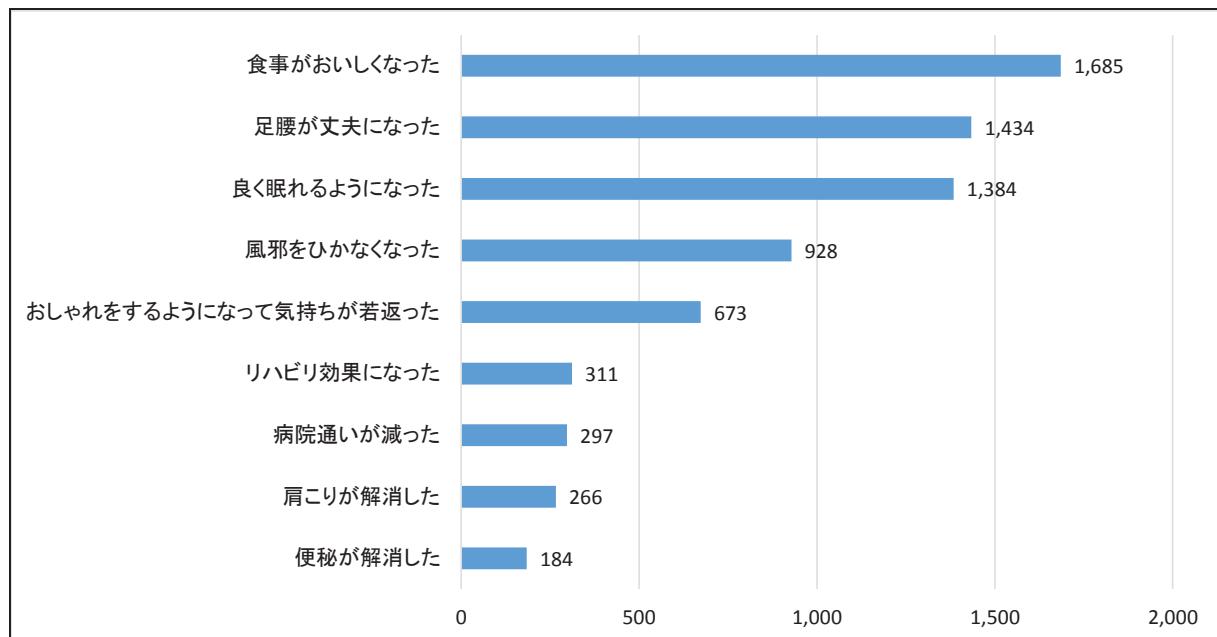


図8 健康増進の効果 (複数回答)

健康増進の効果についてのアンケート結果によると、「食事がおいしくなった (1,685)」が最も多く、次いで「足腰が丈夫になった (1,434)」であった。続いて「良く眠れるようになった (1,384)」、「風邪をひかなくなったり (928)」との回答であった。さらに健康に関連する効果として「おしゃれをするようになって気持ちが若返った (673)」、「リハビリ効果になった (311)」、「病院通いが減った (297)」、「肩こりが解消した (266)」、「便秘が解消した (184)」との順で回答が寄せられた。

9. 協会入会の動機

Q. 会員になった動機をお答えください。(複数回答可)

- ① 友人や知人に誘われたため
- ② 多くの仲間とパークゴルフをする機会を増やすため
- ③ 連合会や日本協会が主催・協賛する大会に参加するため
- ④ 指導員やアドバイザーの資格を取りたいため
- ⑤ パークゴルフのルールやマナーなどの情報を知りたいため

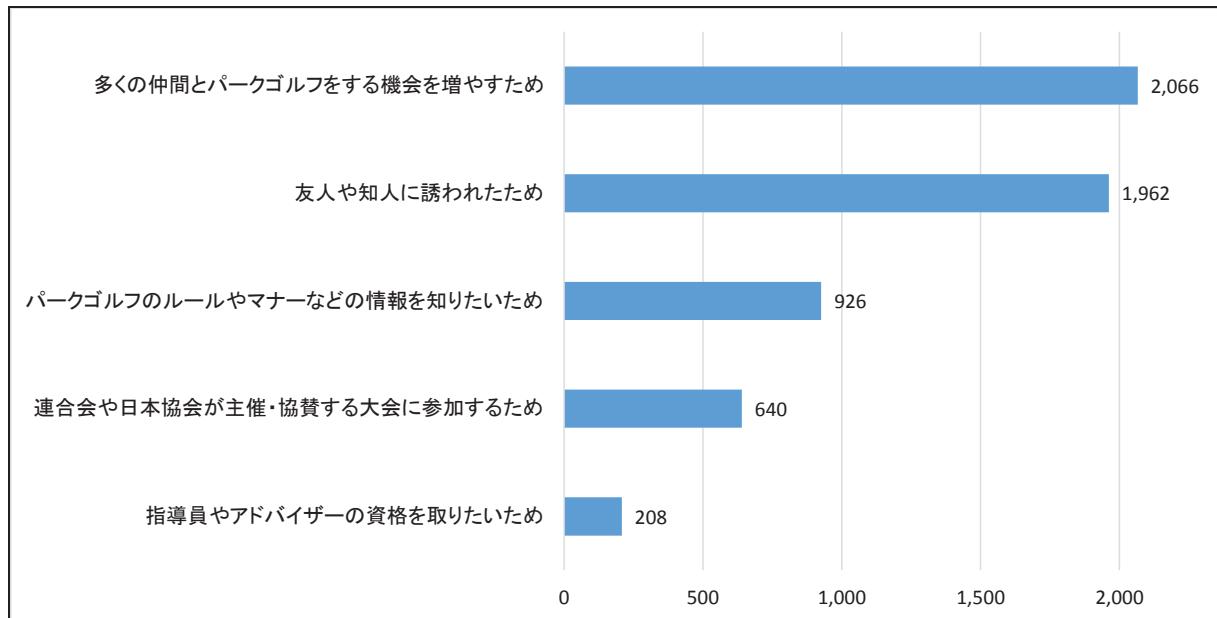


図9 協会入会の動機 (複数回答)

協会への入会動機についてのアンケート結果によると、「多くの仲間とパークゴルフをする機会を増やすため (2,066)」が最も多く、次いで「友人や知人に誘われたため (1,962)」であった。これらの結果は、「パークゴルフを始めたきっかけ」の項目とリンクした納得できる回答であった。友人や仲間と時間を共有しながらパークゴルフを楽しむことで、コミュニケーションづくりや生きがい作りにつながる効果が期待できる。その他の回答では、協会活動に係るもので、「パークゴルフのルールやマナーなどの情報を知りたいため (926)」、「連合会や日本協会が主催・協賛する大会に参加するため (640)」、「指導員やアドバイザーの資格を取りたいため (208)」の順であった。

10. 協会に対する意見及び提言

ご意見・ご提言があれば、ご記入ください。（自由記述）

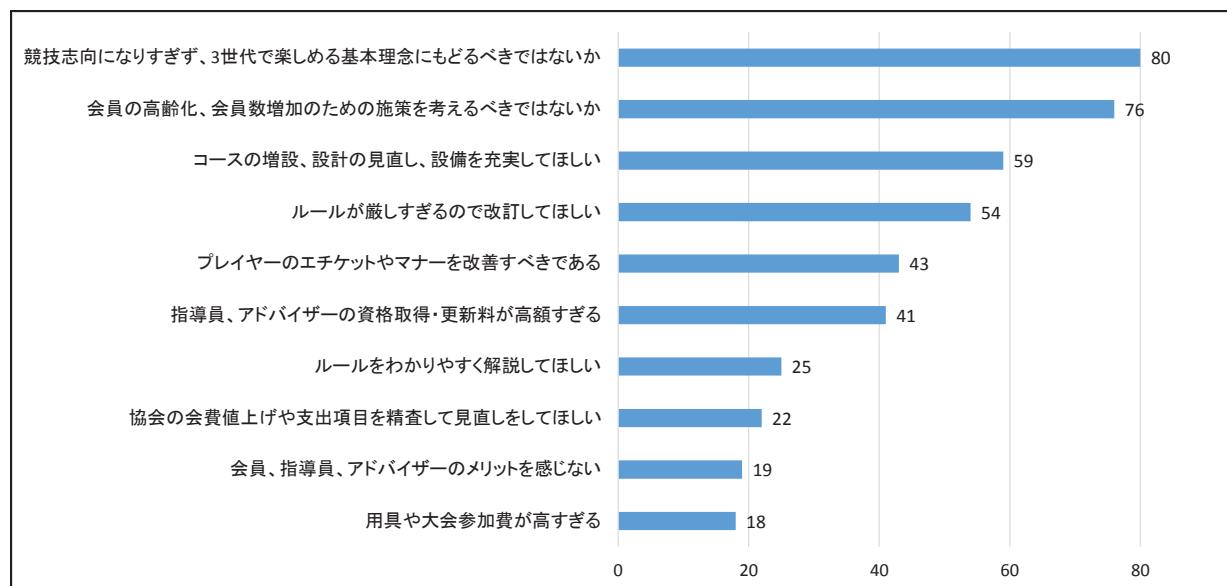


図10 協会に対する意見・提言

上記に示したグラフは、自由記述（回答者：537名）を内容別に整理した上位10の結果である。パークゴルフは、生涯スポーツとして3世代で楽しめ健康づくりに役立つものとして普及発展した経緯がある。このことから、多数の会員から「競技志向になりすぎず、3世代で楽しめる基本理念にもどるべきではないか（80）」との回答が寄せられた。また、その他の項目についても生涯スポーツとして楽しくプレーをしたいとの内容と重なる自由記述が多数あった。



北海道知事杯 第27回パークゴルフ国際大会（北海道幕別町／パークゴルフ発祥の地）

調査結果の要約

パークゴルフ競技は、特に高度な技術を必要とせず、集中力や調整力を発揮できる要素を組み合わせた生涯スポーツとしてのニュースポーツである。芝のコースでプレーし、男女を問わず初心者でも簡単に取り組めるスポーツである。また、個人競技で比較的ルールも簡単なことから気軽に楽しむことができる。2012年11月5日付「朝日新聞」の記事では、競技人口は約130万人、パークゴルフのコースは、1,200カ所を超すと紹介されている。海外の会員も含め協会登録人口は約6万人、シニア層の中でも人気の高いニュースポーツであり、公認コースも全国に351コース整備されている（2016年4月現在）。

今回のアンケート調査では、居住地の属性として36都道府県より回答があり、全国47都道府県中76.6%を占め、性別の属性では男性構成比率（72.6%）女性構成比率（27.4%）であった。プレーヤーの年齢の属性では、最も若い20歳から最高齢の95歳であったが、全体の年齢構成比でみると60歳～79歳が全体の90%を占めていることから、高齢者のプレーヤーの割合がやや高いという傾向がみられる。

パークゴルフに関する内容のアンケート結果から、プレーヤーの競技歴をみると5年～20年以上の割合が77.2%を占めている。このことから、パークゴルフを始めてから長年プレーを楽しんでいるプレーヤーがかなり多いことがわかり、パークゴルフは、その特性から生涯スポーツとして継続的に老若男女がプレーできるニュースポーツであるといえる。

パークゴルフを始めたきっかけの上位3つをみると、複数回答ながら「健康・体力づくりをしたかったから（1,997）」「運動不足を解消したかったから（1,571）」の順で回答があり、次いで「友人や仲間と時間を共有したかったから（1,416）」であった。これらの結果が示すように、多くのパークゴルフ・プレーヤーは、健康・体力づくり・運動不足解消を意識しながら、友人や仲間との時間を共有すること（コミュニケーションとしての場）を求めていることが確認できた。

プレー頻度については、プレーヤーが日常生活の中で「週2回～3回程度（32.6%）」「週1回程度（19.7%）」「週3回～4回程度（19.4%）」が多数であった。また、「週4回～5回程度（11.1%）」「週5回～6回程度（7.7%）」「ほぼ毎日（9.5%）」を合計すると28.3%となることから、毎日の生活リズムの中に溶け込んで日常化し、パークゴルフを楽しんでいる様子がわかった。

ラウンド時間の調査結果から、多数のプレーヤーが日常生活時間の中で、1ラウンドあたり1時間から2時間程度でプレーをしていることがわかった。また、3時間～4時間以上プレーをしているプレーヤーも26.7%示されたことから、日常生活時間の半分をパークゴルフ中心に使い日常生活を過ごしている様子をうかがい知ることができた。

プレーの相手については、パークゴルフを始めたきっかけの質問項目「友人や仲間と時間を共有したいから（1,416）」という回答とリンクしていることから、「同好会や協会の会員（59.5%）」や「友人（30.1%）」が計89.6%示された。また、「夫・妻・親・子（6.4%）」との回答から、ファミリーでも楽しめる生涯スポーツであることが確認できた。

パークゴルフの楽しさについてのアンケート結果では、「友人ができた時（2,020）」が最も多く、次いで「友人と一緒にプレーをしている時（1,796）」が示され、プレーヤーの求めている楽しさを知ることができた。また、3番目に多かった回答では、「技術が向上した時（1,180）」、次いで「大会などで勝った時（852）」が示された。このことは、スポーツの持つ特性として最も基本的な楽しさであるゲームに勝つことに繋がるという納得できる回答であり、その他のアンケート項目でも、楽しさについての回答が寄せられていることから、パークゴルフの持つ多様な魅力をうかがい知ることができた。

健康状態におけるアンケート結果では、パークゴルフをプレーして「健康になった（52.9%）」、「常に健康になった（22.7%）」との回答をあわせると75.6%であった。このことは、生涯スポーツとしてのパークゴルフ活動の実践をとおして、健康・体力づくりに貢献できる顕著に示された結果ともいえる。少子・超高齢社会にあって、スポーツは医療費抑制への期待が益々高まり、スポーツ実施による効果として、健康増進、健康寿命の延命などに期待が寄せられている。したがって、その期待を背景にパークゴルフの活動は、アンケート結果が示すように健康増進に有効な生涯スポーツとして推奨できるニュースポーツであるといえる。

健康増進の効果についてのアンケート結果では、「食事がおいしくなった（1,685）」で最も多く回答された。次いで「足腰が丈夫になった（1,434）」、「よく眠れるようになった（1,384）」、「風邪をひかなくなった（928）」と回答が示された。さらに健康に関連する効果としては、「おしゃれをするようになって気持ちが若返った（673）」、「リハビリ効果（311）」、「病院通いが減った（297）」、「肩こりが解消した（266）」、「便秘が解消した（184）」との回答が示され、パークゴルフの実践活動による心身における健康増進においては、様々な効果を期待させるものであった。

協会への入会動機についてのアンケート結果では、「多くの仲間とパークゴルフをする機会を増やすため（2,066）」が最も多く、次いで「友人や知人に誘われたため（1,962）」であった。この結果から、「パークゴルフを始めたきっかけ」とリンクした納得できる回答が示され、友人や仲間と時間の共有をしながらパークゴルフを楽しみ行うことで、コミュニケーションづくりや生きがい作りにつながる効果が期待できるのではなかろうか。その他協会活動に係るものでは、「パークゴルフのルールやマナーなどの情報を知りたいため（926）」、「連合会や日本協会が主催・協賛する大会に参加するため（640）」、「指導員やアドバイザーの資格を取りたいため（208）」であった。

今回のアンケート結果から、生涯スポーツとして楽しまれるパークゴルフは、スポーツ・レクリエーションとして手軽に行える特性から、少子・超高齢社会を時代背景に健康増進の効果やコミュニケーションづくりに期待が寄せられる生涯スポーツであるということを再確認することができた。

追記：本アンケート調査報告書は、アンケート調査の回答結果を単純集計してまとめたものであることを付記する。

パークゴルフに関するアンケート調査報告書

平成 29 年 9 月 1 日発行

編 集：公益社団法人 日本パークゴルフ協会

編集協力：杉谷 正次（愛知東邦大学 経営学部教授）

石川 幸生（愛知東邦大学 人間健康学部教授）

発 行：公益社団法人 日本パークゴルフ協会

〒089-0616 北海道中川郡幕別町宝町 53-1

Makubetsu-Town Takaramachi 53-1 Hokkaido Japan

電話：0155-54-2260 FAX：0155-54-2204

E-mail : parkgolf@ipga.jp

URL : <http://www.parkgolf.or.jp/>

印刷・製本：ソーゴー印刷株式会社